



業種横断の生産性向上支援策について

2025年1月

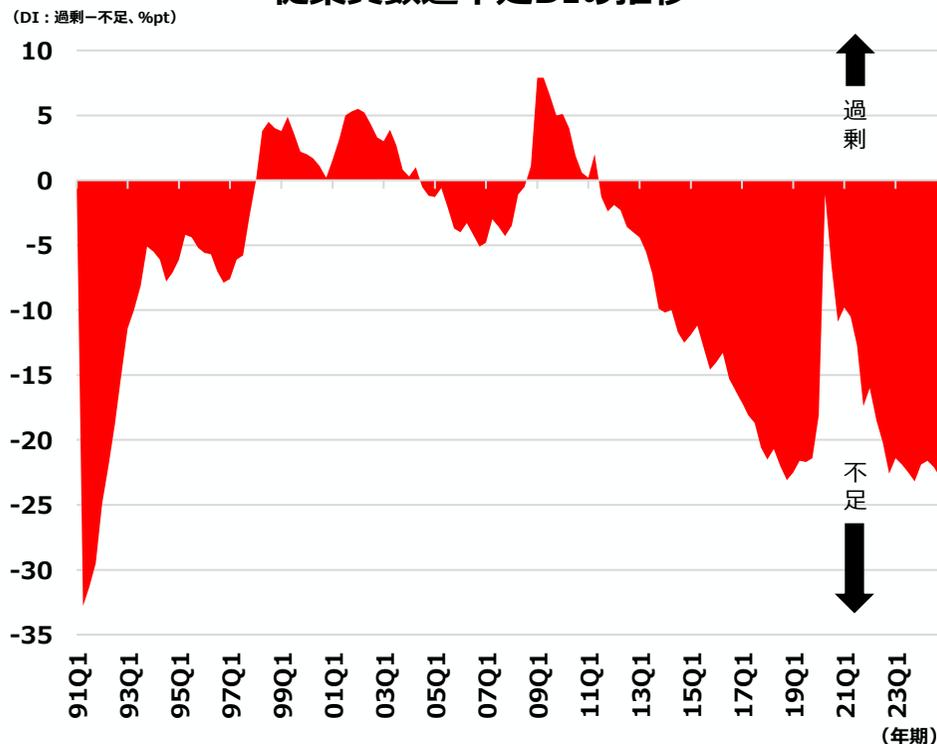
中小企業庁

中小企業における人手不足の状況

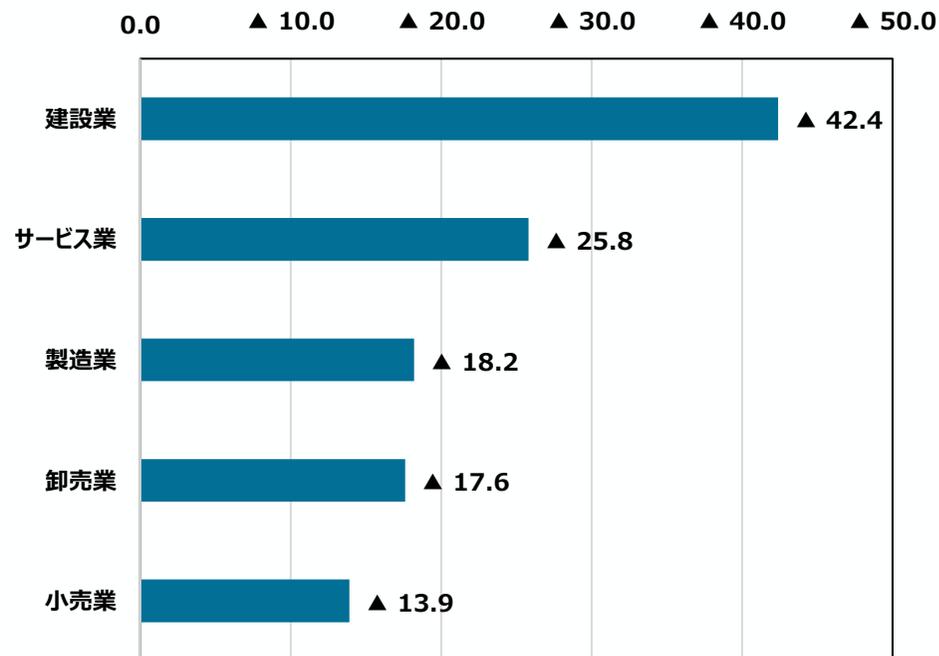
- 近年、中小企業では、従業員数の不足感が強まっており、2024年10-12月期の「従業員数過不足DI」は▲22.9%ptと、バブル期に次ぐ水準で不足感が高い状況にある。

(注) 従業員数過不足DIとは、従業員の今期の水準について、「過剰」と答えた企業の割合(%)から、「不足」と答えた企業の割合(%)を引いて算出したものである。よって、マイナスであればあるほど、「従業員が不足」と答えた企業が多い。DIは「ディフュージョン・インデックス」の略。

従業員数過不足DIの推移



特に人手不足が顕著な業種



中小企業等に対する省力化投資支援

本補助金に関するお問合せ先：
 中小企業庁 イノベーションチーム
 Tel.03-3501-1816

- 中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しする施策の1つとして、中小企業庁では、**中小企業省力化投資補助金（3,000億円、令和6年に再編）、IT導入補助金（3,400億円の生産性革命事業の内数）**を措置している。
- 令和5年度補正で措置した中小企業省力化投資補助金「**カタログ注文型**」では、人手不足解消に効果がある汎用製品を「カタログ」に掲載し、中小企業等が選択して導入することで、簡易で即効性がある省力化投資を促進している。

補助上限額・補助率

中小企業省力化投資補助金

枠・類型	補助上限額 ※()内は大幅賃上げを行う場合	補助率
カタログ注文型	5人以下 200万円 (300万円)	1/2
	6~20人 500万円 (750万円)	
	21人以上 1000万円 (1500万円)	
一般型	5人以下 750万円 (1,000万円)	1/2※ 小規模・再生 2/3
	6~20人 1,500万円 (2,000万円)	
	21~50人 3,000万円 (4,000万円)	
	51~100人 5,000万円 (6,500万円)	
	101人以上 8,000万円 (1億円)	

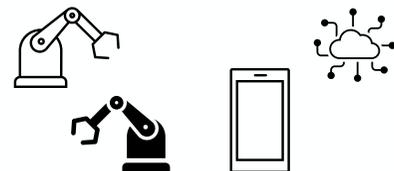
※補助金額1,500万円までは1/2、1,500万円を超える部分は1/3

IT導入補助金

- 補助上限額(補助率)：150~450万円 (1/2~4/5)

導入支援（イメージ）

中小企業省力化投資補助金

カタログ注文型	一般型 ※令和6年末に措置
・自動券売機 ・無人搬送車 	・カスタマイズ機器 ・ソフト+ハード 

IT導入補助金

・在庫管理ソフト 	・給与・労務管理ソフト 	・会計・財務管理ソフト 
---	--	--

補助金の活用事例

中小企業省力化投資補助金（カタログ注文型）活用中の事例

飲食業

- ・ホールスタッフがやっている注文・会計業務の代替として、**券売機**を導入

- ・ホールスタッフが最低2名必要
→ 1名でも営業が可能に



宿泊業

- ・人手で行っているロビー、廊下の清掃業務の代替として、**清掃ロボット**を導入

- ・2名分の清掃業務が削減され、他の業務に専念することが可能に



製造業（自動車・同附属品製造業）

- ・従業員が倉庫から人手で運び出していた部品運搬業務を、**無人搬送車**で代替

- ・従業員の残業によりカバーしていた業務が削減され、残業問題解消へ



小売業（ガソリンスタンド）

- ・事務所でしかできなかった給油許可を、SS敷地内であればどこからでもできる**タブレット型給油許可システム**を導入

- ・スタッフが事務所に常駐する必要なし
- ・車の清掃など業容拡大が見込まれる
- ・地域インフラとして24時間営業維持も可能に



さらなる対象業種拡大・活用促進に向けて、関係省庁と連携して取り組んでいる。

建設業向け製品拡充に向けては、**国土交通省の原課がカタログの申請書作成等の実務を担うなど多大に貢献いただき、緊密に連携**している。

補助金の活用事例

IT導入補助金の活用事例

宿泊業

■ 事業内容

- ・ 販売管理・仕入・在庫管理ソフト& 指定伝票発行システムを導入。

■ 事業成果

- ・ 伝票発行業務を**6分の1に短縮**
- ・ 顧客数**2割増加**

飲食サービス業

■ 事業内容

- ・ 顧客が簡単に操作でき、店舗効率化を実現させるテーブルオーダーシステムを導入。

■ 事業成果

- ・ 注文から支払いまでタブレットでの対応が可能となり、**約0.7人分の省力化達成**
- ・ 回転率向上によりツール導入後**売上40%成長**

中小企業省力化投資補助金（一般型）の活用イメージ

通信販売事業

■ 事業内容

- ・ オンラインショッピングの顧客数及び購買量に対応するため、**自動梱包機及び倉庫管理システム**をオーダーメイドで開発・導入。

■ 事業成果見込み

- ・ 労働生産性を**2.5倍向上**（5年計画）
- ・ 商品の棚入れ作業時間を**50%削減**

自動車関連部品製造事業

■ 事業内容

- ・ 検査が難しい微細な自動車関連部品の製造を効率的に行うため、最新のデジタルカメラやAI技術等を活用した**独自の自動外観検査装置**を開発・導入。

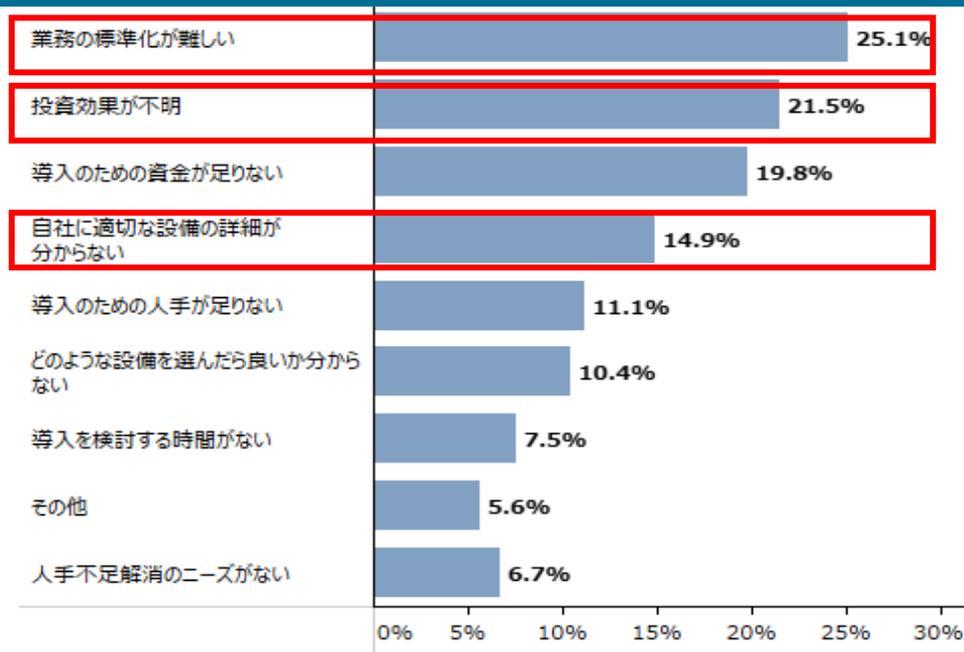
■ 事業成果見込み

- ・ 労働生産性を**7.4倍向上**（3年計画）
- ・ 1時間あたりのシャフト検査数が**2.7倍増**

さらなる省力化投資の促進に向けて

- 人手不足は構造的な課題であり、各業界・企業で腰を据えた取組が必要だが、補助金等による単発の設備導入支援だけでは、効果は限定的である。各業界・企業単位で、全体的な業務のやり方・手法を根本的に見直す必要がある。
- 実際の声としても、省力化投資の検討における課題には、「業務の標準化が難しい」、「投資効果が不明」、「自社に適切な設備の詳細が分からない」といった声が多く挙げられている。また、大企業と中小企業で現場の実態が異なるケースもある。

人手不足対応を目的とした設備投資の検討における課題



(出所) 2024年版「中小企業白書」

(注意) 1. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にならない。

2. 「特になし」と回答した割合は表示していない。